

2026年3月期 第1四半期 決算発表カンファレンスコール

2025年7月30日

JCRファーマ株式会社

【証券コード】 4552

【問合せ先】 経営戦略本部 広報・IR室 ir-info@jp.jcrpharm.com

- 本資料におきまして、当社に関する業績、その他予想、見通し、目標、計画、その他の将来に関する事項が含まれています。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画・目標等が記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通し等が記載内容と大きく異なる可能性があります。
- 本資料には医薬品・医療機器（開発中のものを含む）に関する情報が含まれていますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイス等を目的とするものではありません。
- 本資料の数字は百万円以下切り捨て、パーセンテージを任意の位で四捨五入し表示しています。そのため、合計数時に差異が生じる場合があります。

2026年3月期 第1四半期 連結業績

伊藤 洋
上席執行役員 経営戦略本部長

(単位：百万円)

連結	2025年3月期	2026年3月期			
		Q1累計	Q1累計	前年同期比	
	増減額			増減率	
売上高	8,145	8,569	+424	+5.2%	22.7%
売上原価	2,073	2,357	+284	+13.7%	28.8%
売上総利益	6,072	6,212	+139	+2.3%	21.0%
販売費及び一般管理費	6,368	6,818	+449	+7.1%	25.3%
販売・一般管理費	3,192	3,469	+277	+8.7%	28.9%
研究開発費	3,175	3,348	+172	+5.4%	22.3%
営業利益	△296	△606	△309	-	-
営業外収益	505	74	△430	△85.2%	-
営業外費用	466	218	△247	△53.2%	-
経常利益	△257	△749	△492	-	-
特別利益	627	-	△627	△100.0%	-
特別損失	0	1	+1	+946.1%	-
税引前純利益	369	△751	△1,120	-	-
法人税等	168	△205	△373	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	201	△546	△747	-	-
(ご参考) 共同開発先による負担控除前の研究開発費	3,462	3,518	+56	+1.6%	20.6%

連結決算概要に関する補足説明

- 売上高は前年同期比で5.2%増加しました
- 売上原価率（契約金除く）は工場の稼働率が前年同期に比べて低下したことにより上昇しました
- 販売・一般管理費の増加は、営業活動における共同販促先への手数料の増加等によるものです
- 研究開発費の増加は主に海外の臨床開発の進展によるものです
- 営業外収益の減少は主に為替差益の減少によるもの、営業外費用の減少は持分法投資損失等の減少によるものです

対売上高	2025年3月期 Q1累計	2026年3月期 Q1累計	増減
売上原価率	25.5%	27.5%	+2.0%
売上原価率 (契約金除く)	25.5%	27.9%	+2.4%
研究開発費率	39.0%	39.1%	+0.1%
営業利益率	△3.6%	△7.1%	△3.5%

(単位：百万円)

連結	2025年3月期	2026年3月期			
		Q1累計	Q1累計	前年同期比	
	増減額			増減率	
グロウジェクト®	4,649	4,495	△154	△3.3%	25.3%
イズカーゴ®※	1,372	1,562	+190	+13.9%	24.4%
テムセル®HS注	730	845	+115	+15.8%	31.3%
腎性貧血治療薬	907	897	△10	△1.2%	28.9%
エポエチンアルファ BS注「JCR」	515	122	△393	△76.3%	15.3%
ダルベポエチン アルファ BS注「JCR」	392	775	+382	+97.6%	33.7%
アガルシダーゼ ベータ BS点滴静注「JCR」	277	426	+149	+53.8%	38.7%
医薬品合計	7,936	8,226	+289	+3.6%	26.5%
契約金収入	15	106	+91	+582.2%	1.9%
その他※	193	236	+43	+22.4%	-
売上高合計	8,145	8,569	+424	+5.2%	22.7%

売上高内訳に関する補足説明

- グロウジェクト®、イズカーゴ®、テムセル®HS注はいずれも当社予算を上回り堅調に推移しています
- グロウジェクト®は、薬価改定の影響で前年同期比3.3%減となりましたが、販売数量は前年同期を上回りました
- 腎性貧血治療薬は、販売先であるキッセイ薬品工業株式会社への供給計画に準じた売上高となりました
- アガルシダーゼ ベータBS点滴静注「JCR」については、販売先である住友ファーマ株式会社への供給計画に準じた売上高となりました
- 契約金収入は既存の契約のマイルストーンによるものです
- その他の増加はNPSプログラムの売上増によるものです

※イズカーゴの売上高のうちNPSプログラムによるものは「その他」に含む

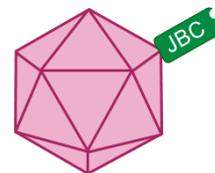
2025年7月

アレクシオン社とJUST-AAV技術に関するライセンス契約を締結



- アレクシオン社は、**最大5つまでの同社の遺伝子治療プログラム**に対してライセンスを受けたJUST-AAVカプシドを適用可能
- **最大で8億2,500万米ドル**のマイルストーンフィー
 - 研究開発マイルストーンフィー : 最大 2億2,500万米ドル
 - 販売マイルストーンフィー : 最大 6億米ドル

JUST-AAV



目的とする組織・臓器への指向性を有し
かつ特定の組織・臓器への移行性を低減したAAV

AAV: アデノ随伴ウイルス
JBC: J-Brain Cargo®

神経変性疾患、核酸医薬品の共同研究に続く
アレクシオン社との第三のパートナーシップ

2025年7月

アキュメン社とJ-Brain Cargo®技術に関するライセンスのオプション契約を締結



- **血液脳関門通過型アルツハイマー病治療薬の開発が目的**
 - アキュメン社のAβO選択的抗体と、血液脳関門通過技術であるJ-Brain Cargo®の組み合わせ
 - J-Brain Cargo®適用の対象となるアルツハイマー病治療薬候補は最大2つ
 - 候補のひとつsabirnetugについては、アキュメン社が臨床第II相試験を進行中
- **最大で5億5,500万米ドルのマイルストーンフィー**
 - 開発マイルストーンフィー : 最大 4,000万米ドル
 - 販売マイルストーンフィー : 最大 5億1,500万米ドル

AβO: アミロイドベータオリゴマー
アルツハイマー病の発症と進行の主要な病理学的
要因である、毒性のある可溶性タンパク質

当社独自の血液脳関門通過技術を用いて
最も困難な医療課題のひとつであるアルツハイマー病に挑む

再生・細胞医療・遺伝子治療製造設備支援事業費補助金 (再生CDMO補助金)

- ・ 経済産業省による事業のひとつ
- ・ 再生・細胞医療・遺伝子治療製品に関するCDMOの国内受託製造拠点の整備や製造人材育成に対する支援を行う事業

テムセル®HS注の安定かつ
長期的な製品供給経験

再生医療等製品に係る
ノウハウ・技術力の蓄積

当社独自の
遺伝子治療プラット
フォーム技術

当社のみが提供しうる新たな価値を実現すべく
製造設備投資を進める

開発品目の進捗

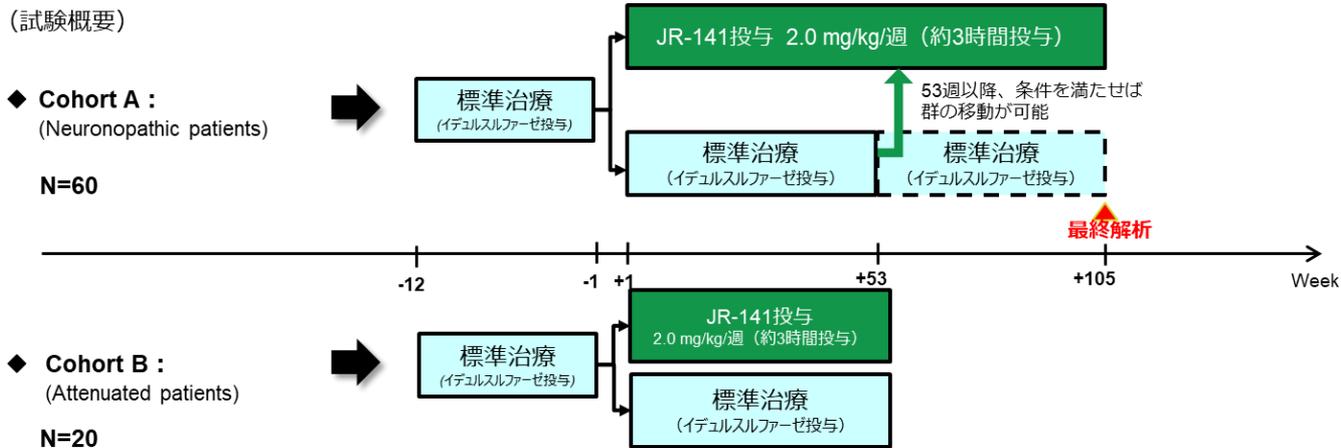
Anne Bechet

上席執行役員 開発本部長

JCR Europe B.V. General Manager

JCR USA Inc. General Manager

グローバル臨床第III相試験 (JR-141-GS31試験) : STARLIGHT試験 概要



- 目標症例数80例の組入れを達成
- 2025年6月 FDA相談にて建設的な議論を実施
 - 承認申請に向けた議論が進行中

開発番号	適応症	開発段階				備考
		前臨床	Phase 1	Phase 2	Phase 3	
JR-141	ムコ多糖症II型（ハンター症候群）	Global Ph3				<ul style="list-style-type: none"> 目標症例数の組入れを達成 ～2027年度 米国・欧州・ブラジルでの承認予定
JR-142	骨端線閉鎖を伴わない成長ホルモン分泌不全性低身長症	Ph3（日本）				<ul style="list-style-type: none"> 2024年12月 Ph3初回投与
JR-171	ムコ多糖症I型（ハーラー症候群 等）	Global Ph1/2 completed				<ul style="list-style-type: none"> 継続試験が進行中 導出に向けて交渉中
JR-441	ムコ多糖症IIIA型（サンフィリップ症候群A型）	Ph1/2（ドイツ）				<Ph1/2> <ul style="list-style-type: none"> 目標症例数の登録完了 2025年度 下半期 データ（1年）の解析完了 <Ph1> <ul style="list-style-type: none"> 目標症例数の登録完了
		Ph1（日本）				
JR-446	ムコ多糖症IIIB型（サンフィリップ症候群B型）	Ph1/2（日本）				<ul style="list-style-type: none"> 2024年12月 Ph1/2初回投与 メディパルホールディングスに導出
JR-471	フコシドーシス					<ul style="list-style-type: none"> メディパルホールディングスに導出

Reach Beyond, Together

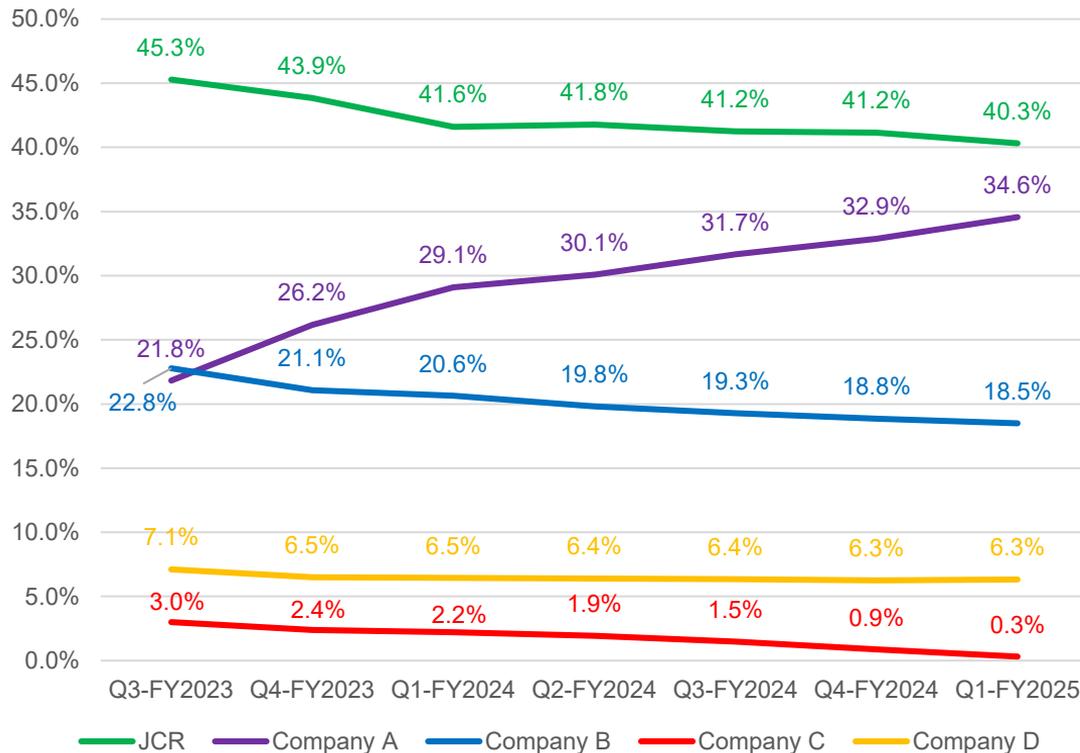
一緒に、その先へ



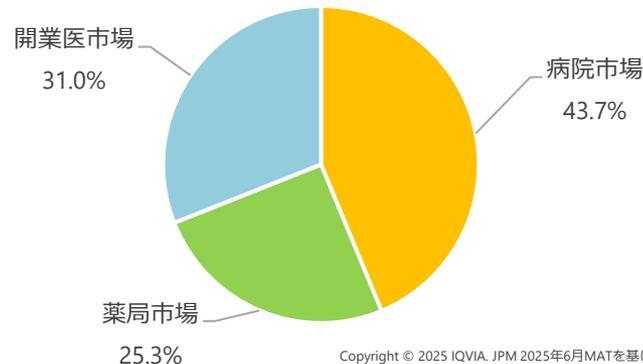
50th
ANNIVERSARY

Appendix

国内GH市場シェア推移（FY2023 Q3～FY2025 Q1） ※薬価ベース



■ 国内GH市場



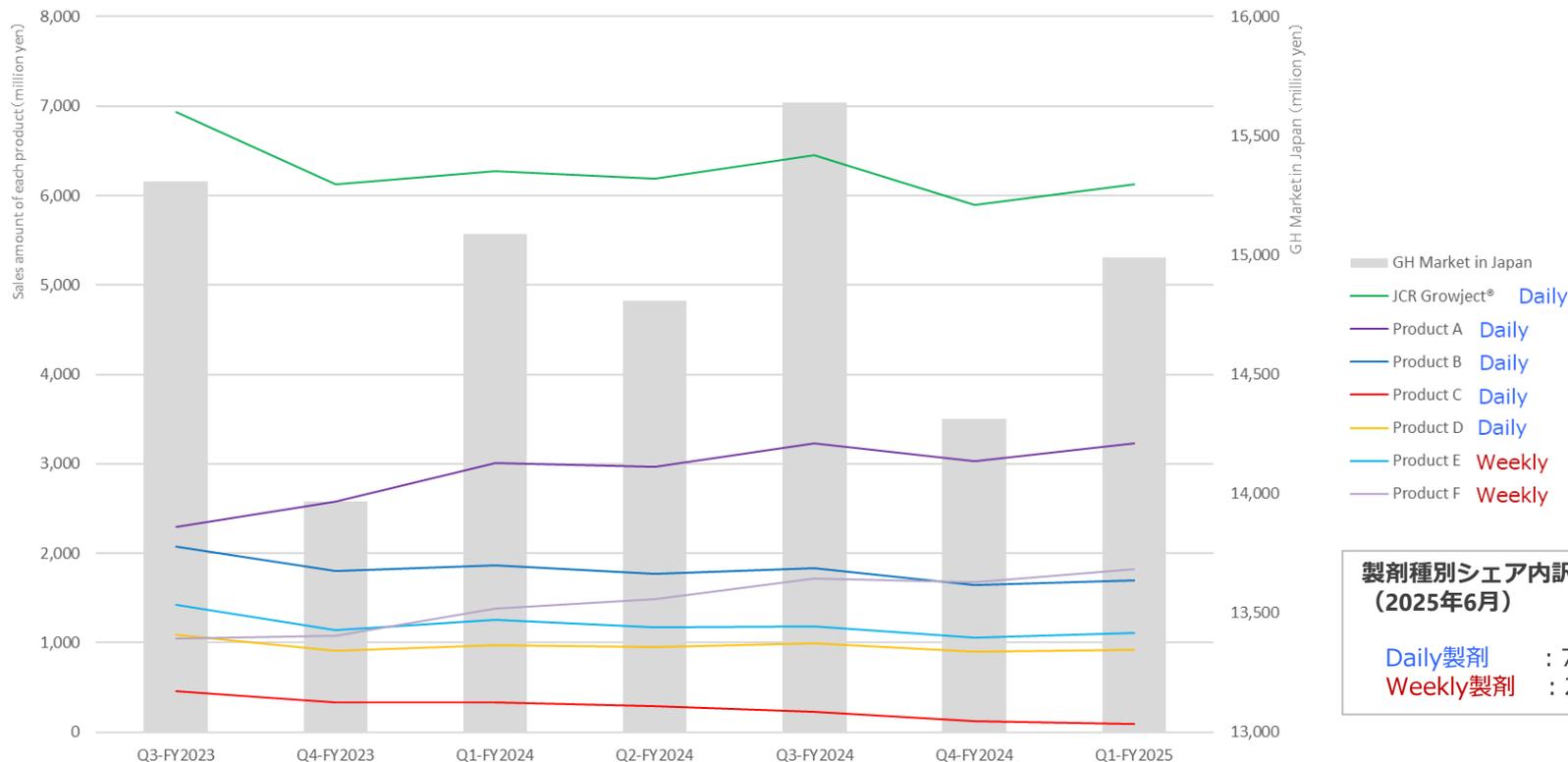
Copyright © 2025 IQVIA. JPM 2025年6月MATを基に作成
(市場定義はJCRファーマ株式会社による) 無断転載禁止

■ 各市場別 グロウジェクト®獲得シェア

	2025年 6月時点	FY2025 Q1売上増減 (vs FY2024 Q1売上) ※薬価ベース
病院市場	32.2%	-217百万円
薬局市場	29.3%	24百万円
開業医市場	59.5%	38百万円

Copyright © 2025 IQVIA. JPM (2025年4月-2025年6月) を基に作成
(市場定義はJCRファーマ株式会社による) 無断転載禁止

国内GH市場推移（FY2023 Q3～FY2025 Q1）※薬価ベース

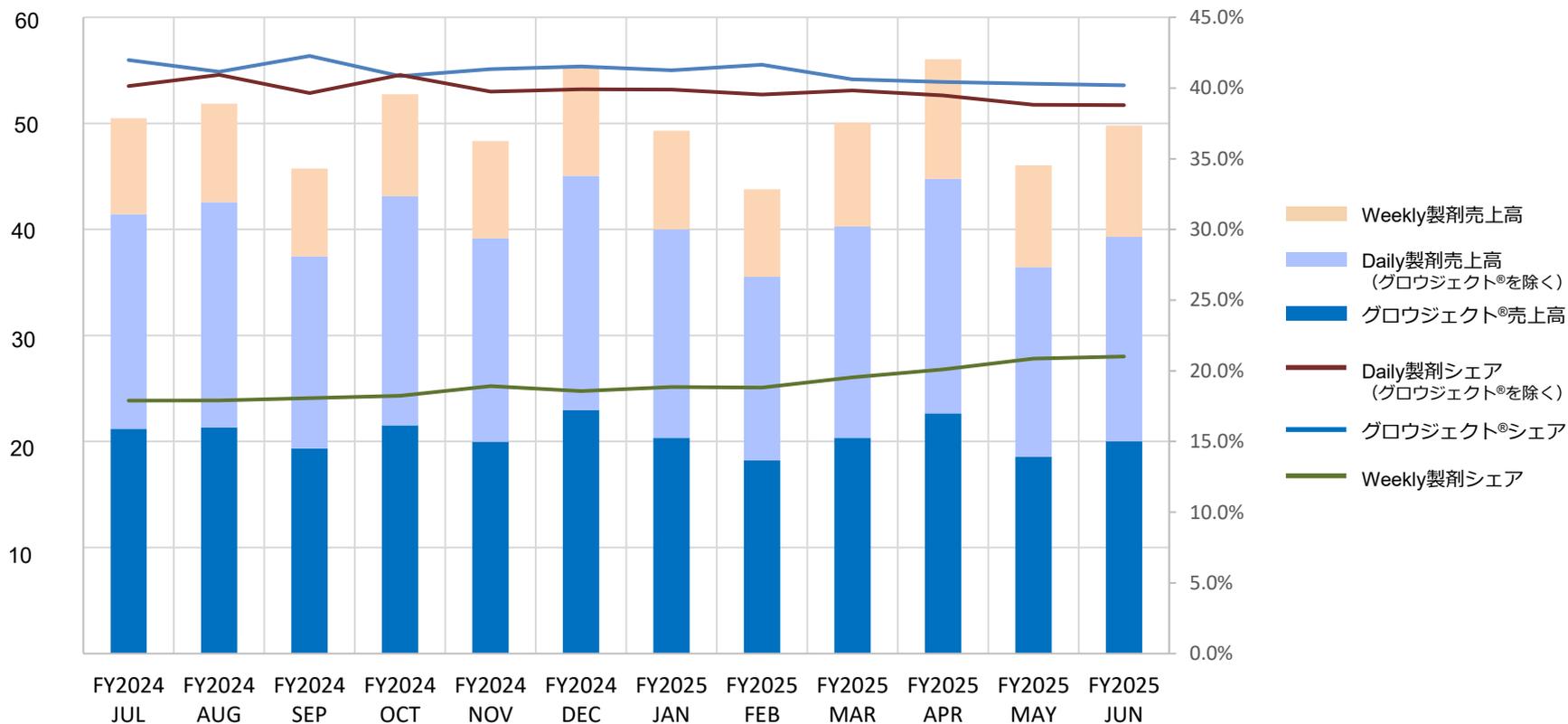


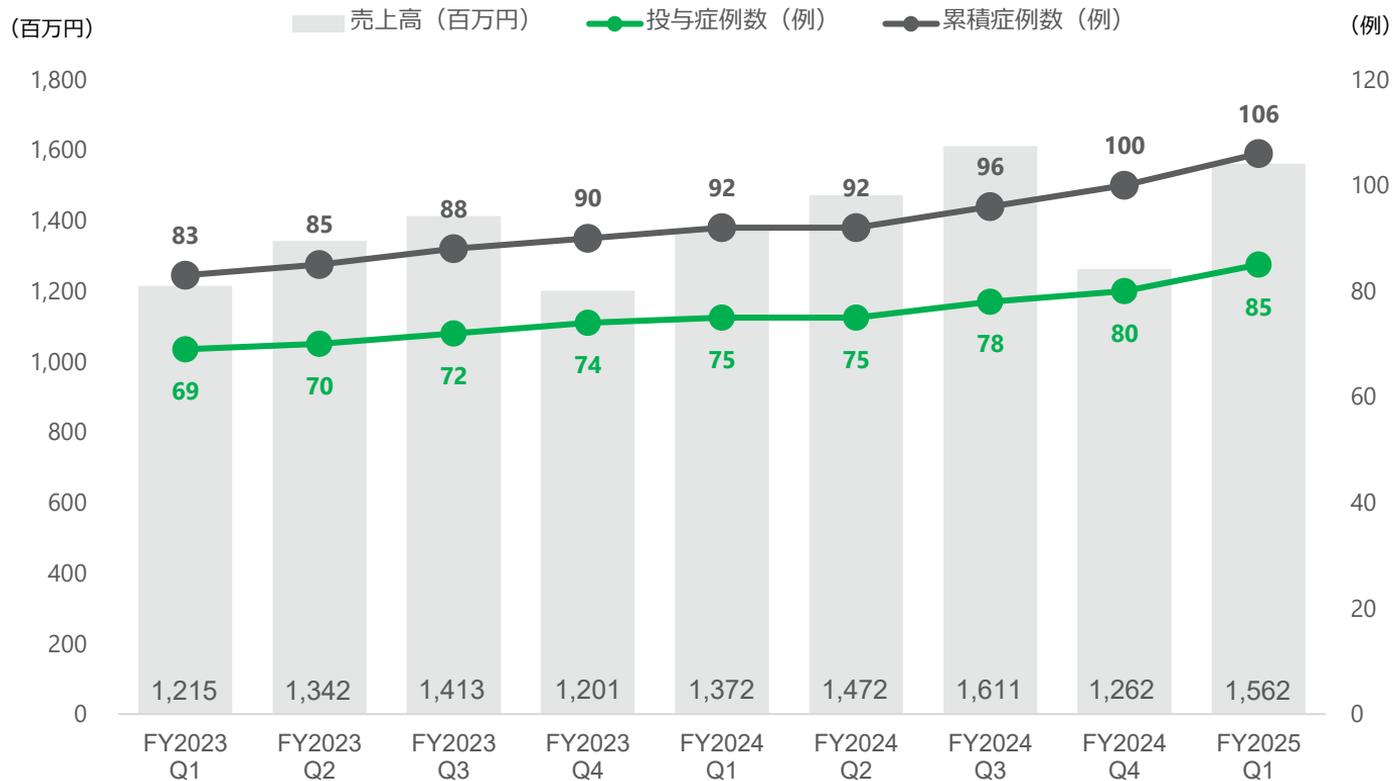
**製剤種別シェア内訳
(2025年6月)**

Daily製剤 : 79%
Weekly製剤 : 21%

グロウジェクト® 国内市場動向 (シェア 推移)

(億円)





【2026年3月期 予想】 連結決算概要

(単位：百万円)

連結	2025年 3月期	2026年3月期		
		実績	予想	前年同期比
	増減額			増減率
売上高	33,072	37,800	+4,727	+14.3%
売上原価	11,333	8,200	△3,133	△27.6%
売上総利益	21,738	29,600	+7,861	+36.2%
販売費及び一般管理費	28,389	27,000	△1,389	△4.9%
販売・一般管理費	12,958	12,000	△958	△7.4%
研究開発費	15,431	15,000	△431	△2.8%
営業利益	△6,650	2,600	+9,250	-
経常利益	△7,477	2,400	+9,877	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△4,759	3,000	+7,759	-
(ご参考) 共同開発先による負担控除前の研究開発費	16,994	17,100	+105	+0.6%

連結決算概要（予想）に関する補足説明

- 売上高は、イズカーゴ®の売上増や契約金収入の増加を見込むため、前期と比較し増加する見込みです
- 売上原価は、前期に製造関係の資材の廃棄損が発生したため、前期比では減少を見込みます
- 販売・一般管理費は、効率的な事業遂行などにより前期比で減少する見込みです。また、研究開発費についてもグローバル臨床試験の進捗があるものの、前期には治験薬等の廃棄損が発生しているため、前期比では減少する見込みです
- 営業利益は、契約金収入の増加を主因として、前期比で増加する見込みです
- 神戸サイエンスパークセンター（原薬工場）の補助金の金額確定に伴う圧縮記帳により、前期以前に計上した減価償却費相当分の特別利益が発生する見込みです

対売上高	2025年 3月期	2026年 3月期	増減
売上原価率	34.3%	21.7%	△12.6%
売上原価率（契約金除く）	34.8%	25.4%	△9.4%
研究開発費率	46.7%	39.7%	△7.0%
営業利益率	△20.1%	6.9%	+27.0%

【2026年3月期 予想】 売上高内訳（連結）

（単位：百万円）

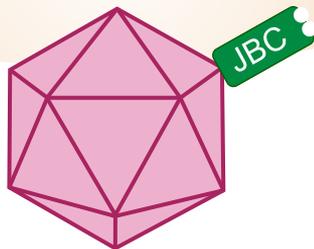
連結	2025年3月期		2026年3月期		
	実績	予想	前年実績比		
			増減額	増減率	
グロウジェクト®	18,098	17,800	△298	△1.6%	
イズカーゴ®※	5,718	6,400	+681	+11.9%	
テムセル®HS注	2,904	2,700	△204	△7.0%	
腎性貧血治療薬	3,784	3,100	△684	△18.1%	
エポエチンアルファ BS注「JCR」	1,690	800	△890	△52.7%	
ダルベポエチンアルファ BS注「JCR」	2,093	2,300	+206	+9.9%	
アガルシダーゼ ベータ BS点滴静注「JCR」	1,149	1,100	△49	△4.3%	
医薬品合計	31,655	31,100	△555	△1.8%	
契約金収入	517	5,500	+4,982	+963.2%	
その他※	898	1,200	+301	+33.5%	
売上高合計	33,072	37,800	+4,727	+14.3%	

※イズカーゴの売上高のうちNPSプログラムによるものは「その他」に含む

売上高内訳（予想）に関する補足説明

- グロウジェクト®は電動デバイスの有用性の訴求や、潜在患者や新規患者への積極的なアプローチなどにより販売数量の拡大を目指しますが、薬価改定の影響を受け、売上高の減少を見込みます
- イズカーゴ®は2023年4月より開始した領域専任制によるイズカーゴ®専任MRの配置や、住友ファーマ株式会社との共同プロモーションにより、継続して売上の増加を見込みます
- テムセル®は競合環境の変化により、売上減少を見込んでいます
- 腎性貧血治療薬とアガルシダーゼベータBS点滴静注「JCR」は販売先への供給計画に準じた売上高を見込んでいます
- 契約金収入はライセンス契約の締結を予定していることなどにより、前期を上回る水準を見込んでいます

JUST-AAV



AAV: アデノ随伴ウイルス

JBC: J-Brain Cargo®

JCR

JCRによる

U

ltimate Destination of Organ

標的の臓器に輸送し

S

afeguarding against off-target delivery

標的外の臓器への輸送を防止する

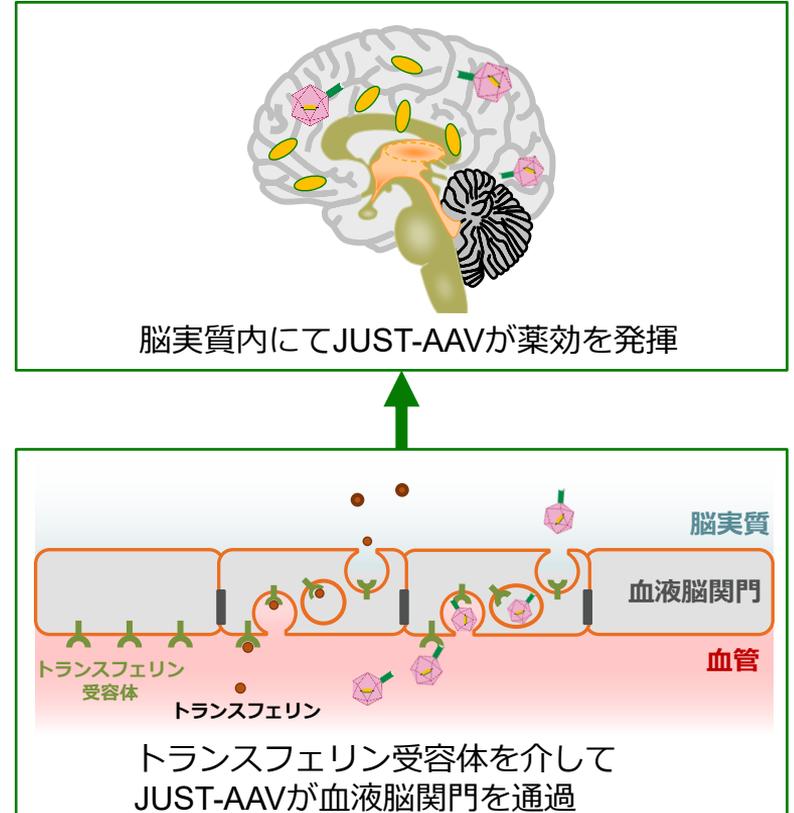
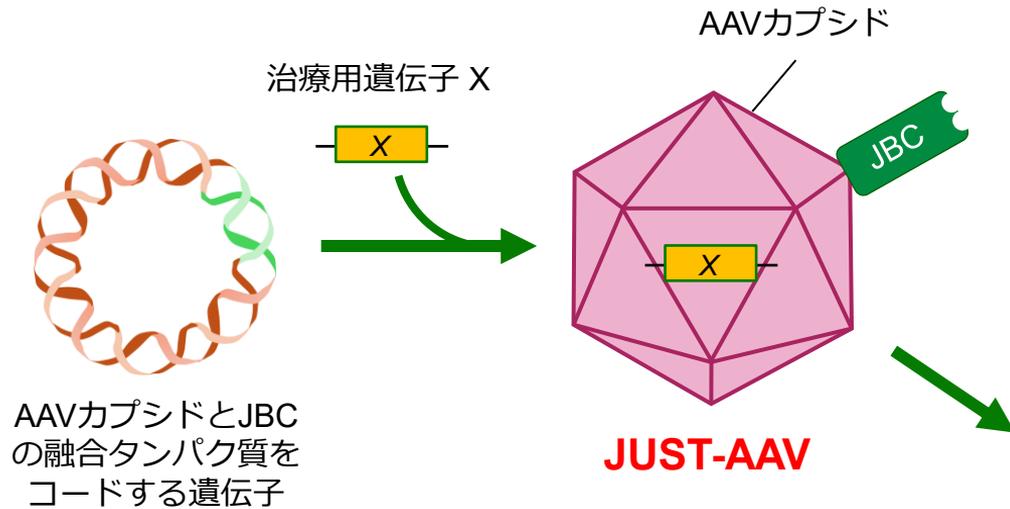
T

ransformative Technology

革新的な技術

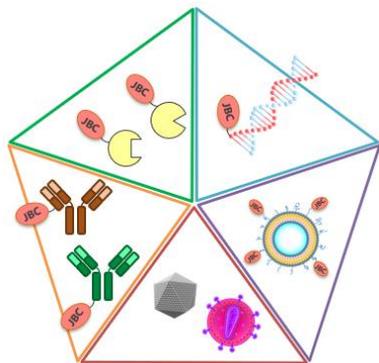
目的とする組織・臓器への指向性を有し、かつ
特定の組織・臓器への移行性を低減したAAV

JUST-AAVの作用機序（脳を標的とする場合）



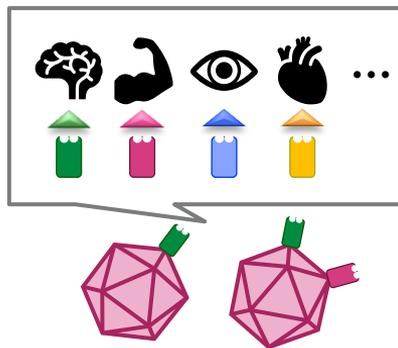
基盤技術のライセンスアウトを拡充し、 希少疾病にとどまらず画期的な治療薬を創製する

J-Brain Cargo®



多様なモダリティに応用可能な
血液脳関門通過技術

JUST-AAV



標的とする組織への送達性を高め
肝臓への集積性を低減させたAAV

ライソゾーム病

神経変性疾患

筋疾患

神経炎症性疾患

神経腫瘍

AAV	Adeno-Associated Virus	アデノ随伴ウイルス
A β O	Amyloid Beta Oligomer	アミロイドベータオリゴマー
API	Active Pharmaceutical Ingredient	原薬
ASO	Antisense oligonucleotides	アンチセンス核酸
BBB	Blood-Brain Barrier	血液脳関門
BLA	Biologics License Application	生物製剤承認申請
CDMO	Contract Development and Manufacturing Organization	医薬品開発製造受託機関
CNS	Central Nervous System	中枢神経系
CSF	Cerebrospinal fluid	脳脊髄液
CTN	Clinical Trial Notification	治験計画届
EC	European Commission	欧州委員会
EMA	European Medicines Agency	欧州医薬品庁
ERT	Enzyme Replacement Therapy	酵素補充療法
EU	European Union	欧州連合
FDA	Food and Drug Administration	米国食品医薬品局
GHD	Growth Hormone Deficiency	成長ホルモン分泌不全性低身長症

HS	Heparan Sulfate	ヘパラン硫酸
i.v.	Intravenous Injection	静脈注射
JBC	J-Brain Cargo®	-
LNP	Lipid nanoparticle	脂質ナノ粒子
MPS	Mucopolysaccharidosis	ムコ多糖症
NPS	Named Patient Supply	特定の患者への医薬品提供プログラム
ODD	Orphan Drug Designation	希少疾病用医薬品指定
Ph I	Phase I	臨床第 1 相試験
Ph II	Phase II	臨床第 2 相試験
Ph III	Phase III	臨床第 3 相試験
PRIME	Priority Medicines	アンメットメディカルニーズを対象とした医薬品の開発支援を強化するためのスキーム
R&D	Research and Development	研究開発
siRNA	small interfering RNA	短鎖干渉RNA
TBD	To be determined	未定
YTD	Year to Date	年度累計